

第69回 映像技術賞 募集要項

(一社)日本映画テレビ技術協会では、「映像制作技術」を対象とした賞として、「映像技術賞」の選定を行っております。当協会活動の中で、「顕彰」は重要な事業活動のひとつです。就きましては、「映像技術賞」の実効を高めていくためにも、下記選定規約をご確認の上、会員の方々からの積極的な推薦をお願い致します。(映像技術賞と技術開発賞を受賞したもののの中から、経済産業大臣賞が1件選ばれます。)

—映像技術賞 選定規約—

I 選定の対象

協会規則第9章「表彰」第54条の規定により、2015年4月1日より2016年3月31日までに、日本国内で公開された劇場公開作品及び放送作品を制作するために使われた技術で、特に優秀なものとして推薦されたものについて選定を行う(再上映・再放送は除く)。

II 候補技術の種類

候補技術は、撮影・照明・録音・音声・美術・編集・アニメーション・VFX・OAGといった、作品(番組)制作のために使われた映像表現技術を対象とする。

III 候補の推薦方法

「応募用紙」を協会宛提出。推薦にあたっては候補となる技術を明確に特定し、その担当者(複数可)を被推薦者として明記しなくてはならない。

IV 候補の推薦者

協会会員(個人・法人会員)または映像技術賞協力関連団体(関連団体とは、(協)日本映画撮影監督協会、(協)日本映画・テレビ照明協会、(協)日本映画・テレビ録音協会、(協)日本映画・テレビ美術監督協会、(協)日本映画・テレビ編集協会、NPO法人テレビ日本美術家協会、(公社)日本照明家協会をいう)。候補が受理された場合、推薦者または被推薦者は、審査試写が出来ない作品に関しては、候補技術の審査の便を図らねばならない。

V 応募の締切

- 郵送の場合 : 2016年4月1日(金)必着とする。
メールの場合 : 2016年4月1日(金)16時必着とする。
※押印済みPDF版(Word不可)による電子メール提出で受け付けます。
[送付先] eizou@mppte.jp [件名] 2015年度映像技術賞応募

VI 審査方法

- (1) 対象となる作品の試写、又はプレゼンテーションを行う。
- (2) 審査は推薦理由及び被推薦者から提出された技術資料に基づいて行う。

VII 審査会

審査会は、会長が委嘱した有識者を審査員として、技術ごとに構成される。

VIII 最終決定

審査会の結論は理事会の承認を経て決定する。

【注意】 同技術・同公開形態への応募に際し、同会社の同局又は同部署から2作品を越えるお申込があった場合は、社内での検討をお願いする場合がございます。

応募用紙提出の際は、記入・押印箇所、提出素材の確認を再度お願い致します。

<技術資料・提出素材>

- 被推薦者(応募者)宛に技術資料の提出をお願いします。**基本的にメールでのご連絡となります。**
○審査は、協会法人社のご協力を得て行う予定です(5月~7月)。応募者に審査の便宜を図って頂く場合があります。

※推薦・応募に係わる個人情報は、当協会外に供与することは致しません。

<お問い合わせ・応募用紙送付先> 一般社団法人 日本映画テレビ技術協会

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-17-12 日本橋ビルディング 2F TEL.(03)5255-6201 FAX.(03)5255-6202

第69回 映像技術賞 応募用紙

録音・音声



(締切:2016年4月1日) 2016年 月 日提出

公開形態	1. 劇場公開作品 2. 放送作品 (いずれかの番号に○印をお付けください。)	
作品名	(必要なサブタイトルなども正確にご記入下さい。今後この作品名が全ての印刷物、受賞関係に使用されます。)	
製作(制作)会社名		
公開(放送)年月/時間	年 月	分 (CMを除いた正味時間)
推薦理由		
提出素材	劇場公開作品 = 35mm・DCP (協会にて手配) 放送作品 = HDCAM (その他素材受付不可) ※HDCAMは、本用紙と同時に提出願います。 提出の際は、必ず、CM部分に黒味処理等を施し、数秒に編集したものを準備願います。 4月1日までの作業が難しい場合は、別途、事務局までお申し出ください。 ※なお、ドラマ以外の音楽番組等については、2時間以内の作品は30分以内に、2時間を 超える作品は50分以内に編集ください。	
被推薦者名 又は被推薦グループ		
被推薦者の連絡先 (複数の場合別紙にて 連絡先を添付下さい)	氏名 社名 所属	住所 〒 E-mail Tel
推薦者(社)名 (当協会会員又は関連団体)	㊟ 当協会会員又は関連団体のみ署名・捺印が有効です。下記連絡担当者は会員非会員問いません。	
推薦者又は 連絡担当者 連絡先	氏名 社名 所属	住所 〒 E-mail Tel

第69回 映像技術賞 応募用紙

美術



(締切:2016年4月1日) 2016年 月 日提出


公開形態	1. 劇場公開作品 2. 放送作品 (いずれかの番号に○印をお付けください。)	
作品名	(必要なサブタイトルなども正確にご記入下さい。今後この作品名が全ての印刷物、受賞関係に使用されます。)	
製作(制作)会社名		
公開(放送)年月/時間	年 月	分 (CMを除いた正味時間)
推薦理由		
提出素材	劇場公開作品 = 35mm・DCP (協会にて手配) 放送作品 = BD・DVD (いずれかに○印をお付けください) ※BD 又は DVD は、本用紙と同時に提出願います。 提出の際は、必ず、CM 部分に黒味処理等を施し、数秒に編集したものを準備願います。 4月1日までの作業が難しい場合は、別途、事務局までお申し出ください。 ※1時間以内の放送作品は30分以内、1時間以上の放送作品は50分以内に編集ください。	
被推薦者名 又は被推薦グループ		
被推薦者の連絡先 <small>(複数の場合別紙にて 連絡先を添付下さい)</small>	氏名 社名 所属	住所 〒 E-mail Tel
推薦者(社)名 <small>(当協会会員又は関連団体)</small>	㊟ 当協会会員又は関連団体のみ署名・捺印が有効です。下記連絡担当者は会員非会員問いません。	
推薦者又は 連絡担当者 連絡先	氏名 社名 所属	住所 〒 E-mail Tel

第69回映像技術賞 応募用紙

編 集



(締切:2016年4月1日) 2016年 月 日提出

公開形態	1. 劇場公開作品 2. 放送作品 (いずれかの番号に○印をお付けください。)	
作品名	(必要なサブタイトルなども正確にご記入下さい。今後この作品名が全ての印刷物、受賞関係に使用されます。)	
製作(制作)会社名		
公開(放送)年月/時間	年 月	分 (CMを除いた正味時間)
推薦理由		
提出素材	劇場公開作品 = 35mm・DCP (協会にて手配) 放送作品 = BD・DVD (いずれかに○印をお付けください) ※BD 又は DVD は、 本用紙と同時に提出願います。 提出の際は、必ず、CM部分に黒味処理等を施し、数秒に編集したものを準備願います。 4月1日までの作業が難しい場合は、別途、事務局までお申し出ください。	
被推薦者名 又は被推薦グループ		
被推薦者の連絡先 (複数の場合別紙にて 連絡先を添付下さい)	氏名 社名 所属	住所 〒 E-mail Tel
推薦者(社)名 (当協会会員又は関連団体)		
	当協会会員又は関連団体のみの署名・捺印が有効です。下記連絡担当者は会員非会員問いません。	
推薦者又は 連絡担当者 連絡先	氏名 社名 所属	住所 〒 E-mail Tel

第69回 映像技術賞 応募用紙

アニメーション・VFX・OAG



(締切:2016年4月1日) 2016年 月 日提出

技 術	1. アニメーション技術 2. VFX技術 3. OAG技術 (=放送番組でのCGを創意工夫した映像表現技術に限ります) (いずれかの番号に○印をお付けください。)	
作 品 名	(必要なサブタイトルなども正確にご記入下さい。今後この作品名が全ての印刷物、受賞関係に使用されます。)	
製作(制作)会社名		
公開(放送)年月/時間	年 月	分 (CMを除いた正味時間)
推 薦 理 由		
被推薦者名 又は被推薦グループ		
被推薦者の連絡先 (複数の場合別紙にて 連絡先を添付下さい)	氏名 社名 所属	住所 〒 E-mail Tel
推薦者(社)名 (当協会会員又は関連団体)	㊟ 当協会会員又は関連団体のみの署名・捺印が有効です。下記連絡担当者は会員非会員問いません。	
推薦者又は 連絡担当者 連絡先	氏名 社名 所属	住所 〒 E-mail Tel

本技術は、プレゼンテーションによる審査となります。

応募受理の後、詳細をご通知致しますので何卒ご了承ください。

- ・プレゼンテーションの時間は、アニメ・VFXは40分以内(質疑応答含)、OAGは30分以内(質疑応答含)
- ・審査日は6月中のいずれかを予定
- ・基本的にメールでのご連絡となります。必要事項については必ず返信下さいますようお願い申し上げます。

※アニメーション技術は、劇場公開作品・放送作品に関わらず、同一部門での審査を行います。

※VFX技術も同様に、劇場公開作品・放送作品に関わらず、同一部門での審査を行います。